平成26年４月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年12月９日

上場会社名　株式会社トーエル　上場取引所　東
コード番号　3361　ＵＲＬ　http://www.toell.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）中田　みち
問合せ先責任者　（役職名）専務取締役　管理部門長　（氏名）山中　正幸　ＴＥＬ　045-592-7777
四半期報告書提出予定日　平成25年12月10日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切り捨て）

１．平成26年４月期第２四半期の連結業績（平成25年５月１日～平成25年10月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年４月期第２四半期	11,539	8.6	529	△26.6	515	△22.9	288	△19.5
25年４月期第２四半期	10,623	0.8	720	30.2	668	34.3	358	34.1

（注）包括利益　26年４月期第２四半期　350百万円（2.0%）　25年４月期第２四半期　343百万円（30.2%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年４月期第２四半期	14.13	－
25年４月期第２四半期	18.46	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年４月期第２四半期	21,551	11,354	52.7	556.41
25年４月期	22,254	11,309	50.8	554.22

（参考）自己資本　26年４月期第２四半期　11,354百万円　25年４月期　11,309百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年４月期	－	0.00	－	15.00	15.00
26年４月期	－	0.00			
26年４月期（予想）			－	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年４月期の連結業績予想（平成25年５月１日～平成26年４月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	5.9	1,820	0.7	1,730	△4.9	910	△12.0	44.59

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年４月期２Ｑ	20,415,040株	25年４月期	20,415,040株
②　期末自己株式数	26年４月期２Ｑ	8,755株	25年４月期	8,755株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年４月期２Ｑ	20,406,285株	25年４月期２Ｑ	19,406,285株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信（添付資料）２ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）セグメント情報等 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ経済解消に向けた金融緩和や財政政策の経済対策が円安傾向と株価上昇を生み、輸出関連企業を中心にして業績も回復基調にあり、設備投資にも一部で持ち直しの動きが見られました。しかしながら個人消費が本格的に回復するまでには至りませんでした。

このような状況のもと、当社グループはＬＰガス事業で安定した収益を確保し、ウォーター事業で企業の成長を計るという経営戦略のもと、中でもウォーター事業ではリターナルボトルでの関東圏中心の事業展開から、ワンウェイボトルでの全国展開、さらには海外にも拡張の体制が整いました。事業基盤を拡大させることで持続的な収益力の向上と、財務体質を強化させることに取り組んでまいりました。

セグメント別の概況は次の通りです。

①ＬＰガス事業

国際原油価格は、主たる産油国である中東地域での政情不安とそれに伴う地政学リスクにより高止まりで推移しました。ＬＰガス価格については、その原油価格に大きな影響を受けたこと、またＬＰガス産油国大手のサウジアラビアが自国の消費用に優先し、東南アジアの新興国の需要が旺盛である等の条件が重なり、北半球の不需要期に入っても価格は下がらず、また為替が円安基調であることからも輸入ＣＰ価格は高値圏で推移いたしました。

当社グループは小売価格改定に努めると同時に、業務用大口顧客を中心にした新規顧客開拓に注力した結果、ＬＰガスの販売数量は前年同四半期に比べ7.5％増となりました。

また、ＬＰガスは太陽光発電や燃料電池とのハイブリッドによるエネルギーのベストミックスとしての供給に適しているとの観点から業務用、工業用を中心に積極的に営業展開をし、新エネルギー供給システムとして業績に寄与いたしました。

この結果、売上高は8,391百万円（前年同四半期比13.8％増）、管理部門経費配賦前のセグメント利益は737百万円（前年同四半期比6.6％減）となりました。

②ウォーター事業

ボトルウォーターは飲料水の宅配事業として、利便性が評価され市場は成長を続けております。当社グループは「ハワイウォーター」「アルピナ」の２ブランドウォーターで関東圏を中心に営業展開をしてまいりましたが、新たに加えたワンウェイボトル「アルピナ８」では全国展開を推進いたしました。また、ワンウェイボトルの特性は日本の水が海外にも輸出が可能との考えに基づき、当社グループとしては初めて「信濃湧水」としてシンガポールへの輸出も開始いたしました。

なお、かねてより建設を進めておりました米国ハワイ州でのTOELL U.S.A.CORPORATIONモアナルア工場が完成し、日本国内向けにワンウェイボトルウォーターとして輸入も開始いたしました。

東日本大震災発生時のボトルウォーターの新規顧客の急激な需要の伸びは、その後時間の経過と共に震災前の伸びに戻りました。当時の特需が大きかった分その反動が出たために当四半期では新規顧客数は前年同四半期に比べ大きな伸びには至りませんでした。国内産「アルピナ」の販売本数は前年同四半期に比べ増加となりましたが、ボトル単価の高い「ハワイウォーター」の販売本数が前年同四半期を下回ったため、ウォーター事業合計では売上高は前年同四半期に比べ減収となりました。一方利益面ではモアナルア工場建設に伴う償却費用の先行で前年同四半期に比べ減益となりました。

この結果、売上高は3,148百万円（前年同四半期比3.1％減）、管理部門経費配賦前のセグメント利益は651百万円（前年同四半期比30.8％減）となりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は11,539百万円（前年同四半期比8.6％増）となり、営業利益は529百万円（前年同四半期比26.6％減）、経常利益は515百万円（前年同四半期比22.9％減）、四半期純利益は288百万円（前年同四半期比19.5％減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ702百万円減少し、21,551百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金633百万円、現金及び預金426百万円の減少等により、982百万円減少し、固定資産は有形固定資産が33百万円減少したものの、投資その他の資産が268百万円増加したこと等により、282百万円増加しました。

負債は、支払手形及び買掛金が441百万円減少したこと等により747百万円の減少となりました。また、純資産は前連結会計年度末に比べ44百万円増加し、11,354百万円となり、自己資本比率は52.7％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年４月期の通期の業績予想につきましては、現時点では、平成25年６月７日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、気候変動やＣＰ価格及び円／ドル為替の動向などの不確定な要素があり、今後業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年４月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年10月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,828,779	2,402,667
受取手形及び売掛金	3,382,733	2,749,594
商品及び製品	1,105,678	1,173,355
仕掛品	1,597	7,178
貯蔵品	96,072	108,272
その他	289,484	278,116
貸倒引当金	△22,979	△20,295
流動資産合計	7,681,367	6,698,888
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,768,858	2,945,182
機械装置及び運搬具（純額）	1,153,802	1,674,990
土地	5,243,458	5,243,458
リース資産（純額）	1,654,175	1,536,531
その他（純額）	745,658	132,249
有形固定資産合計	11,565,952	11,532,412
無形固定資産		
営業権	1,120,858	1,136,744
その他	178,052	209,380
無形固定資産合計	1,298,910	1,346,124
投資その他の資産		
その他	1,792,764	2,064,931
貸倒引当金	△90,114	△93,421
投資その他の資産合計	1,702,649	1,971,510
固定資産合計	14,567,512	14,850,047
繰延資産	5,631	3,014
資産合計	22,254,511	21,551,950

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年４月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年10月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,229,702	1,788,175
短期借入金	200,000	440,000
1年内返済予定の長期借入金	917,413	871,316
未払法人税等	386,546	251,268
賞与引当金	142,815	146,410
役員賞与引当金	51,000	－
その他	2,127,759	1,956,214
流動負債合計	6,055,236	5,453,384
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	2,125,396	2,043,862
退職給付引当金	248,821	256,579
役員退職慰労引当金	558,731	582,709
その他	1,456,708	1,361,237
固定負債合計	4,889,657	4,744,388
負債合計	10,944,894	10,197,772
純資産の部		
株主資本		
資本金	767,152	767,152
資本剰余金	1,484,536	1,484,536
利益剰余金	8,928,444	8,910,633
自己株式	△2,988	△2,988
株主資本合計	11,177,145	11,159,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	126,927	185,473
為替換算調整勘定	5,544	9,369
その他の包括利益累計額合計	132,472	194,843
純資産合計	11,309,617	11,354,177
負債純資産合計	22,254,511	21,551,950

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年５月１日 至　平成24年10月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年５月１日 至　平成25年10月31日）
売上高	10,623,012	11,539,507
売上原価	5,915,594	7,072,709
売上総利益	4,707,417	4,466,798
販売費及び一般管理費	3,986,451	3,937,730
営業利益	720,966	529,067
営業外収益		
受取利息	1,915	1,171
受取配当金	3,650	3,842
賃貸収入	16,340	16,273
スクラップ売却収入	11,705	12,009
その他	14,931	34,448
営業外収益合計	48,542	67,745
営業外費用		
支払利息	56,273	52,539
その他	44,510	28,545
営業外費用合計	100,784	81,084
経常利益	668,724	515,727
特別利益		
固定資産売却益	647	13,978
特別利益合計	647	13,978
特別損失		
固定資産除却損	554	－
ゴルフ会員権評価損	2,828	－
特別損失合計	3,382	－
税金等調整前四半期純利益	665,988	529,705
法人税、住民税及び事業税	303,179	241,911
法人税等調整額	4,629	△489
法人税等合計	307,808	241,422
少数株主損益調整前四半期純利益	358,180	288,283
四半期純利益	358,180	288,283

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年５月１日 至　平成24年10月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年５月１日 至　平成25年10月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	358,180	288,283
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,471	58,546
為替換算調整勘定	－	3,824
その他の包括利益合計	△14,471	62,371
四半期包括利益	343,708	350,654
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	343,708	350,654
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年５月１日 至　平成24年10月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年５月１日 至　平成25年10月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	665,988	529,705
減価償却費	523,823	525,365
営業権償却	249,689	233,690
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△8,792	622
賞与引当金の増減額（△は減少）	△205	3,595
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△14,705	7,757
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	69,987	23,978
受取利息及び受取配当金	△5,565	△5,013
支払利息	56,273	52,539
保険解約損益（△は益）	－	△5,663
固定資産除却損	554	－
有形固定資産売却損益（△は益）	△647	△13,978
売上債権の増減額（△は増加）	1,033,377	630,809
たな卸資産の増減額（△は増加）	43,930	△86,832
仕入債務の増減額（△は減少）	△898,016	△437,274
割賦未払金の増減額（△は減少）	△2,587	△1,455
未払金の増減額（△は減少）	△59,570	△19,358
預り金の増減額（△は減少）	△9,383	5,274
その他	△138,821	△347,235
小計	1,505,329	1,096,527
利息及び配当金の受取額	5,421	3,863
利息の支払額	△53,737	△48,501
法人税等の還付額	－	1,771
法人税等の支払額	△391,573	△366,129
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,065,438	687,532
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△337,601	△346,963
有形固定資産の売却による収入	2,797	21,151
無形固定資産の取得による支出	△393,883	△235,158
投資有価証券の取得による支出	△629	△733
貸付金の回収による収入	15,547	752
保険積立金の解約による収入	4,108	16,121
保険積立金の積立による支出	△19,206	△18,383
その他	△875	△12,519
投資活動によるキャッシュ・フロー	△729,742	△575,733
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	220,000	240,000
長期借入れによる収入	600,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△565,166	△527,631
社債の償還による支出	△100,000	△100,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△228,835	△249,077
配当金の支払額	△232,949	△305,172
財務活動によるキャッシュ・フロー	△306,951	△541,880
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,045	3,969
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	24,699	△426,112

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年５月１日 至　平成24年10月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年５月１日 至　平成25年10月31日）
現金及び現金同等物の期首残高	2,093,425	2,828,779
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,118,125	2,402,667

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成24年５月１日　至平成24年10月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	ＬＰガス事業	ウォーター事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,375,136	3,247,875	10,623,012	－	10,623,012
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,986	－	21,986	(21,986)	－
計	7,397,122	3,247,875	10,644,998	(21,986)	10,623,012
セグメント利益	789,369	941,185	1,730,554	(1,009,588)	720,966

（注）１．セグメント利益の調整額△1,009,588千円には、セグメント間取引消去△21,986千円と全社費用△987,602千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成25年５月１日　至平成25年10月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	ＬＰガス事業	ウォーター事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,391,005	3,148,501	11,539,507	－	11,539,507
セグメント間の内部売上高又は振替高	26,720	－	26,720	(26,720)	－
計	8,417,725	3,148,501	11,566,227	(26,720)	11,539,507
セグメント利益	737,124	651,372	1,388,496	(859,428)	529,067

（注）１．セグメント利益の調整額△859,428千円には、セグメント間取引消去△26,720千円と全社費用△832,708千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。